

第47期フォアマン研修会

「フォアマン」とは「監督者」を意味します。

第一線の監督者は、仕事の面でも、また人間関係の面でも、職場の要です。その働きぶりが、企業の成果に大きく影響することは言うまでもありません。一方で、新しく監督者という立場になった人をはじめとして、監督者の役割に疑問や不安を感じつつ日々を過ごしている人もいますでしょう。

監督者のための研修として当協会が開発した「フォアマン研修会」は、回を重ねること今年で47期目を迎えます。以下に、その特徴的な内容をご紹介します。

長期にわたる動機づけ

「研修に参加させたが、全然変化がない。いったい何をやってきたのだろうか……」という嘆きを耳にすることがあります。特にマインド研修はスキル研修と異なり、即効性のあるものではありませんから、【研修参加 = 目にみえる変化】とはいかないのが当然と言えば当然です。逆に言うと、それなりのショック・刺激を受けない限り、たった1度の研修参加により人間性がすっかり変わるといことも考えにくいことです。その点、このフォアマン研修会は、約6か月間にわたるロングランですので、参加者は長期的な刺激を受けることになります。この「長期的」ということが、態度形成・変化のひとつの要因となります。

「他流試合」「異業種交流」「人脈形成」の場

長期間にわたって同じ職場で同じ人々と仕事をしていると、どうしても「井の中の蛙」になってしまい、視野が狭くなってしまいます。この研修に参加し、グループ討議などで他の企業の監督者と接することにより、自分自身や自分の職場の在り方について考えるヒントを得られますし、業種の異なる企業の監督者との意見交換を通じて、異なる考え方・言葉を知ることで、視野が広がるきっかけにつながります。また、グループ討議を経験することによって、討議の進行や発表のスキルも向上しますし、他の企業の監督者との人脈形成にもつながります。

講師は地元企業から

フォアマン研修会では講師のことをコーディネーターと呼んでいます。そして各会合のコーディネーターは、それぞれが地元の有力企業(様々な業種)で人事・教育関係に携わっている方々です。地元の企業で育ち、今も人事・教育問題等で苦勞している方々による研修は、プロの研修講師にはない味わいと共感があります。

グループ課題を職場で実践

グループごとに設定した課題を、参加者が各自の職場で実践し、毎会合終了後にその進捗状況等について討議します。第2会合で施策を策定し、以降PDCAを回して行くというものです。最終会合では、約6か月間の課題実行の成果を、全員の前で発表し、研修を締めくくります。

TWIを修了していることが前提

監督者訓練のひとつである「TWI」(次項『TWI-4 J 10時間訓練講習会』参照)を修了していることが、フォアマン研修会参加の前提となります(なお、TWIを修了していない参加者のために、別途特別講習会を開催します)。

伝統ある研修

今期で46期を迎えるこのフォアマン研修会は、述べて2,000人近くの修了者を輩出しています。40年以上続く伝統を守りつつ、時代の流れに合わせて常に内容を見直し発展させています。

回講座内容

	テーマ	内容
第1会合 6/16(金)	期待される フォアマン	フォアマン(監督者)に対して会社が期待している基本的な役割と使命、取り巻く環境の変化について認識する。また、コース全体の概観を把握する。
第2会合 7/4(火)・ 5(水)	グループ課題設定	職場を活性化するためのグループ課題の設定を行う。系統図の作成を通じて、技法の習得はもちろん、物事を真剣にかつ精緻に考えることを実践で身につける。
第3会合 7/26(水)	組織運営	組織運営や報連相のポイント、ゲームを通じて合理的な話し合いをするための重要性について学習する。
第4会合 8/23(水)	部下育成	部下育成の必要性・重要性およびその方法について、ケーススタディを交えて学習する。また、部下等への接し方、OJTの方法についても合わせて学ぶ。
第5会合 9/14(木)	職場の コミュニケーション	人間関係の基本であるコミュニケーションの意義と留意点について、コミュニケーションゲームを通して体得する。
第6会合 10/11(水)	カウンセリング マインド	他人の気持ちや態度を把握する上で重要となることはもちろん、その他の場面でも監督者の態度として必要な「傾聴」、メンタルヘルス等について学ぶ。
第7会合 10/27(金)	リーダーシップ	職場のリーダーとして、職場を活性化するには何が必要か、また、リーダーシップとは何か、リーダーシップとパワハラの違い等について学習する。
第8会合 11/8(水)	自己革新	自己啓発、さらに自己革新の必要性を学び、その前提として、現在の自分を様々な角度から把握する。また、今後の人生の計画を立てる。
認定試験	研修の内容についての筆記試験および論文試験(不合格者は後日追試験を行います。)	
第9会合/ 認定式 12/8(金)	グループ課題達成 発表会 フォアマン認定式	第2会合で課題を設定し、毎会合後に実施してきたグループ討議および自職場での実践の結果について発表し、今後の決意表明をする。また、フォアマン認定者に対し認定証の授与を行い、優秀者を表彰する。

※ 毎会合参加後に、レポートを提出していただきます。

※ TWI-4J未修了者は、上記日程の他、特別講習会(1日)を受講していただきます。

※ 上記会合の日程・内容等は、変更となる場合がありますので、ご了承下さい。

回過去の参加企業(順不同・敬称略)

吉野工業所、アイ・ディー・エー、カースチール、ナカヨ、小倉クラッチ、澤藤電機、理研鍛造、NSKステアリングシステムズ、藤生製作所、モミモ、富士スバル、八木工業、両毛システムズ、ぐんま安全教育センター、群馬県埋蔵文化財調査事業団、ミツバ、群馬ヤクルト販売、ヨシカワ、日本ケロッグ、大西ライト工業所、サンユウ、星野物産、サンデン、タツミ、クシダ工業、デンカ、東葉電機製作所、カネコ種苗、赤城自動車教習所、ウエノテクニカ、富士ゴム工業、森傳、イチタン、千代田製作所、きのした、ミツバロジスティクス、桐生工業、他

開催要領

日 程	令和5年6月16日(金)～12月8日(金)《前頁参照》
会 場	原則として、「JAぐんま研修センター」《前橋市江木町1085-1》 第2会合は、「群馬県勤労福祉センター」《前橋市野中町361-2》 第8会合は、「群馬県JAビル」《前橋市亀里町1310》 第9会合は、「前橋商工会議所会館」《前橋市日吉町1-8-1》 ※会場は変更する場合がありますので、ご了承下さい。
定 員	36名《最少催行人員20名》※最少催行人員に達しない場合、中止することがあります。
対 象 者	初級監督者（リーダー）・監督者（リーダー）候補者《業種・職種・性別は問いません》
参 加 費	【TWI-4J 修了済】会員企業：1名 100,100円／非会員企業：1名 150,150円 【TWI-4J 未修了】会員企業：1名 105,600円／非会員企業：1名 158,400円 ※TWI-4Jで1つでも修了していないコースがある場合は、未修了価格となります。 フォアマン研修会の期間中に全コース修了予定の場合は、修了済価格となります。 ※参加費には、消費税、資料代、昼食代が含まれています。
申込方法	①下記参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXやメール等でお送り下さい。 ②開催が決定しましたら、参加費のご請求書等をお送りいたします。
申込締切日	令和5年6月2日(金) ※定員になり次第締め切ります。
注 意 事 項	①原則すべての会合に参加しなければ、フォアマンとして認定されません。 ②会合の時間は9:30～17:00が原則ですが、第9会合・認定式は時間が異なります。また、第2会合は終了時刻が遅くなる可能性があります。詳細は別途お知らせいたします。 ③筆記用具等は各自ご持参下さい。 ④参加費ご入金後の返金はいたしません。また、締切日以後のキャンセルの場合は、資料代等が発生するため、全額ご請求いたします。
お問合せ先	一般社団法人群馬県経営者協会 五十嵐 亮 二／塩 野 梓 TEL:027-234-2770 FAX:027-234-2771 E-mail:igarashi@gunkeikyo.net

群経協行 FAX:027-234-2771 igarashi@gunkeikyo.net

「フォアマン研修会」参加申込書

会社名		TEL	
担当者ご芳名		所属・役職	
E-mail			

参加者氏名（ふりがな）	所属・役職	TWI-4J 修了状況 (修了済のコースを○で囲んで下さい)
()		未修了・修了済⇒(JI JR JM JS)
()		未修了・修了済⇒(JI JR JM JS)
()		未修了・修了済⇒(JI JR JM JS)